

## 包括みどり! 本領発揮!!

ケアマネジャー 山本 久美子

「芸術は爆発だぁ!」と叫んだのは岡本太郎であるが、「包括も爆発だぁ!」と私も叫ぶ。

包括業務の第一は、総合相談窓口である。受話器の向こうから「古くなっていらん様になった布団を捨てたいんやけど、勝手にゴミの日に出していいの?」との問い合わせ…。こういう時には介護保険の知識だけでは役に立たない。すぐ枚方市のゴミ出しマニュアルを開いて対応をする。「ありがとう。出し方はわかったけどその布団、私は足が悪うて持って行かれへんわぁ。どうしよう?」そこからは、地域のボランティア情報などを組み合わせての説明になる。地域の草の根の情報をどれだけ持っていて、いかに即座に対応できるか、そのスピード感が包括の真骨頂である。

もう一つの柱は、地域への広報や住民活動への協力・参加である。パソコンやプロジェクターを抱えて公民館や集会所へと足を運ぶ。パワーポイントや寸劇の台本作りから

取り組み、時には真面目(?)に、時にはアフロヘアーのかつらまでかぶっての熱演で認知症についての知識を広めている。文字や言葉だけで伝えるよりも寸劇は伝わりやすい。見て、笑って身近な問題として理解して頂ける為の基盤作りとなる様、今後も取り組んで行く大切な活動の一つである。

そして忘れられないのが、介護予防プランである。枚方市内の13包括ある中で、担当件数がナンバーワンの我が包括みどりでは、来る日も来る日も担当者会議にモニタリング、書類配布に…と地域を走り廻っている。机の上には資料等が山となり、パソコンのモニタにはメモの付箋の花が咲き乱れている。常に頭の上を最新情報が飛び交っている、それが包括みどりである。

今日も電話が鳴り響き、パソコン入力する音が途切れる事がない日常が続いている。

## 社会福祉法人 松樹会

### 平成22年度事業計画について

施設長代理 岡崎 基

社会福祉法人 松樹会では平成22年2月19日に事業計画・事業予算等を決定しました。理事会・評議員会を例年通り行い、来年度の運営の方針を①ご入居者の一人ひとりに合わせたサービスの提供 ②専門職としての育成強化 ③財務の安定 に取り組んで参ります。

昨年は各施設でご入居者の入院などが相次ぎ、退院後の施設での生活について模索した1年でありました。協力医療機関であります、中村病院の担当医と話し合いながら、今後も引き続き各施設でご入居者が少しでも長く過ごせる取り組みを行っていくことを、法人共通の目標として取り

組んで参ります。

また、平成22年度の事業計画には、昨年来「ひらかた福祉計画21」に沿って行われたグループホーム整備事業公募の中、当法人が採択を得ることができました。場所は、現在の特別養護老人ホームいこいの里の隣地で計画しており、また、定員数は2ユニット18名と当法人ですでに運営しております「たんぼぼ藤阪」と同じ規模です。今までの認知症ケアの経験を活かしながら、交北・山田地区に新たなグループホームが根ざせるよう地域の皆様とともに、平成23年度の開所を目指しこれからも努力して参ります。

## 親和会の特別企画

親和会 会長 菅野 香生

今年度の親和会の活動もいよいよ最後となりました。例年は忘年会の企画で親和会の活動が終わるのですが、今年度は特別企画として施設・事業所別で行いました。

中村病院は「天橋立・カニ食べ放題バスツアー」として日帰り旅行。中村記念病院は業務終了後、松井山手にある和食ダイニングで食事会。なごみの里は立食パーティーを行い、それぞれが大いに盛り上がりしました。

松樹会は他の施設と趣向を変え、ソフトバレー大会を

行い、みなで汗をかくて親睦を図りました。

これを持ってすべての親和会行事が終了し、役員も新役員へと交代します。平成22年度も職員が大いに楽しみ、盛り上げる親和会行事であって欲しいと思っております。



## 各施設連絡先

### 社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホームいこいの里 072-898-2197  
 デイサービスセンターいこいの里  
 居宅介護支援センターつくしんぼ 072-898-2196  
 つくしんぼ長尾 072-868-2190  
 デイサービスセンター長尾  
 有償運送事業(福祉タクシー) 072-868-2190  
 つくしんぼ藤阪 072-868-2191  
 たんぼぼ藤阪 072-868-2197

鍼灸接骨院 つくみ 072-836-8280

### 医療法人 みどり会

中村病院 072-868-2071  
 地域医療相談室  
 中村記念病院 072-868-2070  
 なごみの里 072-868-2072  
 ケアプランセンター なごみ 072-818-7533  
 サテライトなごみの里 072-818-2071  
 デイサービス長尾の里  
 たんぼぼ長尾 072-868-2195  
 訪問看護ステーション 072-868-2071  
 訪問介護ステーションみどり 072-868-4392  
 枚方市地域包括支援センターみどり 072-845-2002  
 みどり保育所 072-850-7550

### —— 編集後記 ——

みどりの風発刊20号にあたり、今号では医療法人みどり会中村病院・中村記念病院の統合新病院建設計画構想及び来春開設予定の松樹会「グループホームたんぼぼ交北」建設計画と両法人の新規事業計画を理事長より発表させていただいております。

地域に根ざした医療・福祉分野で皆様に喜んで安心して御利用いただける病院、施設づくりに努力を重ねてまいりますので更なる御指導、御支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

みどりの風発行委員会  
 連絡先 ☎072-868-2071  
 法人本部 松田



# みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071  
 社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197  
 URL <http://midori.jp.org/> E-mail [midorii@io.ocn.ne.jp](mailto:midorii@io.ocn.ne.jp)

編集責任者：理事長 中村 猛  
 編集：季刊誌発行委員会

## 第20号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さんこんにちは、  
 野山に新緑がおい、春の陽光が燦然とまぶしい季節を迎えました。

4月の診療報酬改定は10年振りに総枠0.19%とわずかながら増となり、つき進む医療崩壊の歯止めがかかるか今後の課題であります。

消費経済の落ち込み、失業者の増加と社会の閉塞感が増すなか社会保障と教育の2つの基幹社会インフラを確立して明るい活気ある希望に満ちた世の中にしたいものです。

さて、私共の両法人では、この4月の平成22年度の事業運営がスタートするにあたり、2つの新たな施設建設を実行する予定に入りました。

一つは、医療法人みどり会の築後30年を経た中村病院一般、慢性療養型の（123床）をJR長尾駅前にある中村記念病院（回復期リハ83床）の隣接に新病院を建て統合する計画で今秋より工事を開始する予定で、できれば約1年後の来秋に完成を期待しております。今まで両病院が離れているとの不都合を痛感し、かねてから実行案を検討してきたもので、完成後はハード面の建物をフルに活用し、ソフト面のスタッフの能力アップ、チームワークによる質の向上で、必ずや、地域医療のより良い提供につなげてまいりたいと思っております。

もう一つは社会福祉法人松樹会が特別養護老人ホーム“いこいの里”の隣接地にグループホーム“たんぽぽ交北”（2ユニット18名）を建設するもので、これもこれから急ピッチの工事が始まり来春にはオープンにもっていく予定であります。

両法人におきましては3ヶ所目のグループホーム施設で高齢者社会の認知症の入所施設として、御家族から安心してまかせられた特長あるグループホームの設立に向け、これから全員一丸となって、その施設作りに頑張っていきたいと思います。

本年度のこの両法人の事業計画である両施設の建設が我々の地域の方々に安心して喜んでもらえるように、今までの経験を生かし、職員一同努力して積み上げてまいり所存ですので、皆様方には暖かい御指導・御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



新中村病院イメージパース

## 平野官房長官 ～つくしんぼ藤阪～施設見学される

さる3月20日（土）に第2京阪道路が開通し、その際、我々地元、枚方・交野選出の内閣官房長官 平野博文 議員が、お知り合い入所者のお見舞いを兼ね、我々の社会福祉法人松樹会つくしんぼ藤阪およびグループホームたんぽぽ藤阪に立ち寄られました。少子高齢化社会の老人福祉施設の現場を見学され、入所者の方々に気安さとお声をかけていただきました。今後の国政にしっかりと反映させていただけるものと思います。

今後のますますの御活躍を期待申し上げます。

（記：中村）



平野官房長官、入所者の方々と歓談



## 医療法人 みどり会、社会福祉法人 松樹会 平成22年度 入社式挙行

さる、平成22年4月1日（木曜日）中村病院にて平成22年度合同入社式を挙行いたしました。今年度の新入職員は14名の出席となりました。業種別は下記の通りです。

看護師（1名） 理学療法士（3名） 作業療法士（2名）

社会福祉士（1名） 介護福祉士（1名） 介護職員（6名）

入社式終了後は、人事主催のオリエンテーションをAM9:00からPM5:00まで実施し、夜には場所を変えて新入職員歓迎会（参加者46名）を開催し盛大のうちに終了。（記：人事部 廣江）



### 中村病院



## 平成22年診療報酬改定について

院長代理 高橋 輝

この度4月に診療報酬改定が行われました。今回の重要課題として救急、産科、小児、外科等の医療再建と病院勤務医の負担軽減が示され、重点的に配分されています。当院は2次救急病院として地域での初期救急を担っており、この点は今回の改定で高く評価されています。また、いわゆる基幹病院での初期治療終了後の継続治療を受け入れる病院に対しても新たに評価する仕組みが加わっており、当院の医療方針にも掲げて

いる病院と地域をつなぐ役割が評価されています。今回の改定で新たに栄養サポートチーム等の活動を評価する項目も盛り込まれておりますが、当院ではこれらの取り組みを既に開始しております。病院スタッフが協力して、よりよい医療を提供することが評価されていますので、今後もこれらの取り組みを強化し、病院機能の向上に努めてまいります。

## 医療安全管理システムの取り組み

看護部長 藤原 千佳子

医療福祉事故防止対策は感染症予防対策とともに、医療福祉業務の中でも重要課題の取り組みです。

看護・介護部では、各施設でのインシデント・アクシデントの事例検討や対策などの共有化を図ってきましたが、今年度はもう一歩踏み込んだ形にしたいと考えています。例えば今まで施設毎に企画していた医療安全研修を横断的に企画し、リスクマネージャーによる施設巡回など、施設を客観的に見る目が入ることで、より具体的な問題点や解決策が見えてくると思われます。

各施設が離れていても、同じ質の高い安全な医療福祉サービスが提供できるように努力してまいります。

## 介護職員研修始まる

介護主任 地鼻 真奈美

平成22年3月から6月までの4ヶ月間にわたる介護研修が始まりました。

研修の目的は、介護士が医療チームの一員であるという自覚を持ち、看護業務をサポートし患者様の身辺介護を行なうために必要な知識・技術を習得するというものです。

第一回は病院における介護士の役割と倫理について学びました。脳血管疾患の研修では、手足の麻痺や言語障害を抱えながら日常生活を営んでいる患者様に、どのような介護が適切であるのかを考えるよいきっかけとなりました。

今後は、感染症・医療安全・介護技術などについても学ぶ予定です。今回の研修は、ただ受講するだけでなく毎回レポート提出をするため、本を見直したり考えたりと、自分の介護を振り返る良い機会となっています。

この研修を通して、質の高い医療サービスが提供できる一員になるように皆で成長していきたいと思っております。

### 中村記念病院

## 私たちスピーチセラピスト（言語聴覚士）のやくわり

言語聴覚士 副主任 多賀 敬子

中村記念病院では、現在5名の言語聴覚士（以下ST）が勤務し、主に脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍などの原因によりことばが出てこない（失語症）、呂律が回らない（構音障害）、ごはんが飲み込みにくい（嚥下障害）などの症状がある方々を対象に、コミュニケーション機能や嚥下の評価、訓練などのリハビリテーションを行っています。

回復期病棟のSTとしての役割を果たすために、リハビリスタッフ同士だけでなく、病棟でのコミュニケーション、摂食状況を看護師・介護士から情報を得て、日々の訓練に取り組んでいます。しかし、回復期リハビリテーションの入院期間での失語症の改善は、歩行・セルフケアの自立よりも難しい事が多く、ST全員悩むことが多い日々を送っています。そのような中、患者様や家族様のニーズに応えられるよう、外部の学会発表への積極的な参加や、院内での勉強会の開催、ST間における患者様の症例検討会を行うなど、知識と技術の向上に努めています。

今後の課題としては、退院後を想定した家族指導として、患者様の症状に対する理解を深めていただくために、家族様との関わりを更に密にし、訓練場面の見学や、コミュニケーション方法、また嚥下障害に対する知識や具体的な摂食介助方法の伝達を図ってまいりたいと考えています。

コミュニケーション障害や嚥下障害を抱えた患者様への対応を間違えることのないように、日々の訓練に取り組み、これからも「あたたかい思いやりのある医療」をモットーに、ST一丸となって質の高い信頼されるリハビリテーションが提供できるように頑張っております。





## 就任のご挨拶

施設長 武村 次郎



平成22年4月1日付でなごみの里施設長に着任致しました。ここにご挨拶申し上げます。初めに自己紹介として今までの経歴を述べさせていただきます。出身は徳島で京都大学に進学、卒業後倉敷中央病院で内科一般を研鑽。その後京都大学大学院に入学し、京都大学糖尿病・栄養内科前教授で関西電力病院院長の清野裕先生のグループで糖尿病研究を行い、最近糖尿病の新薬として登場してきたインクレチン(消化管ホルモン)の基礎研究に取り組みました。その後、カナダ・バンクーバーのUBC大学に留学。帰国後は宮崎医科大学

第3内科助手・講師を歴任。その後北九州市の小倉記念病院、島根県の松江市立病院を経て、今年3月までは大阪市城東区にある済生会野江病院糖尿病・内分泌内科に勤務しておりました。同病院では副院長、院長補佐として病院管理業務に従事して参りましたが、この度医療法人みどり会にお招き頂き、介護老人保健施設なごみの里を預かることになりました。不慣れな点もありますが、今までの経験を活かして施設運営に尽力したいと考えております。老人保健施設での医療提供には限界もありますが、中村病院との連携を密にし、地域での医療・福祉サービスを提供する核となる施設として、皆さんに信頼される施設にしたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

## 新入職員を迎えて～私たちの思い～

サテライトなごみの里 副管理者 服部 澄子

毎年4月1日付けで、職員の法人内異動や新入職員も加わり職場の雰囲気も華やき明るくなります。新入職員のフレッシュな笑顔や感性、やる気を大切にしながら研修計画を立案します。幸い当施設も在宅復帰支援施設として地域から認識され、関係機関からの紹介も増えています。今年度の研修に「自立支援」「楽しみ」の項目を追加し、全職員で連携を図りながら「自分のことはゆっくりでも、自分で出来る生活」リハビリ訓練を追加して、日常生活に自信をつけていただきます。訓練時には職員が体調や安全を確認しながら、一緒に見守りや訓練介助をさせていただきます。

## 1. 車椅子から椅子に座り替え、しっかり床に足を付ける。

膝の関節の拘縮は自立支援の妨げになり、食堂での食事、トイレでの排泄、家庭入浴、玄関の昇り降り等の総てに支障をきたします。特に膝関節や足関節等の拘縮予防を図る努力をします。

## 2. 地域への外出を支援

まず戸外で清浄な空気に触れ河川沿いや近隣の散歩、買物や外食等の外出の機会を増やして、食べる楽しみ、四季を体感、社会との繋がりを体験されることで生活に潤いや喜びを思い出していただきます。

## 3. ご家族様に、ねぎらいの言葉を

入所後も面会や洗濯物の交換等で頻回に訪問されていますが、高齢の配偶者はバスやタクシーで、仕事帰りのご家族は、急ぎ足で駆け込むようにして「何時もお世話になります」とのお言葉に職員は恐縮します。私達こそ感謝とねぎらいを込めたご挨拶を心がけたいものです。

「やさしさと真心込めて介護する、心安らぐなごみの里」これは、なごみの里の標語です。標語を目標に、利用者を主体にした明るく働きやすい職場作りを目指します。

## 在宅部門

## 介護現場の声が聞こえますか

訪問介護ステーションみどり 所長 小山 康子

人間誰でも避けては通る事の出来ない老い。

今までしてきた事が一つ一つ出来なくなる不安・いらだち・そしてあきらめ。その心の動きの変化の葛藤とどう向き合えるかどうか又、老いることの事実を事実として認める事が出来るか、どうかだと思います。認めなければその先の1歩が踏み出されない様な気がします。その踏み出す勇気が必要なのではないでしょうか。でもその勇気を持つ為には、家族のかかわり、人のかかわり。そして何より大切な事は、「対話」が必要不可欠だと思います。なぜなら、1人では生きられないから、心が温かくなるからです。

自由に体が動かないと世間から取り残されるような錯覚に陥り、感謝を置き忘れてきたり、自分中心になったりされることがあり残念に思うことがあります。

介護の現場においては、ある時は泥棒にされたり、自分の思いが反対にとられたり悲しい思いをする事があります。でもその時は、仲間同志での会話で解決していきますが、組織の中の一員でもあるので、一人ひとりの居場所をわかってもらっているとの自覚がモチベーションもあがり大きな自信にも繋がります。

私達も行く道、避けては通れない道、今いっぱい勉強させていただいております。考え次第でプラスにもマイナスにもなります。

新聞の中で目が留まった一節がありました。それは老化防止の為の「かきくけこ」を意識するとの事でした。

「か」… 感動する

「き」… 興味を持つ

「く」… 工夫する

「け」… 健康

「こ」… 「こうなりたい」というあこがれに対して努力する。

最後に内面の充実がいかに大切かを教えられていました。これからの季節は現場の私達には最高です。桜の木・すてきな景色・道端に咲いている小さな花達が出迎えてくれます。

さわやかな風とともに、さぁスタート！